

## ～国指定史跡「和台遺跡」確認調査現地説明会を開催します～

東北地方を代表する拠点的な集落遺跡として、平成18年7月28日に国史跡の指定を受けた「和台遺跡」は、保存活用計画策定のため、昨年度より史跡指定範囲の確定と遺跡の性格を確認するために調査を実施しています。

今年度の調査は、福島市教育委員会と中央大学考古学研究室の小林謙一教授（和台遺跡調査指導委員会委員）が連携して、学術調査として発掘を進めています。

この度、調査成果を広く周知するため、下記のとおり現地説明会を開催しますので、みなさまぜひお越しください。



竪穴住居完掘状況（過去の調査風景）

### ◆和台遺跡確認調査現地説明会◆

\* 日時：平成30年8月12日（日） 14時30分～16時00分

\* 会場：福島市飯野町明治字南和台地内（別添地図参照）

\* 調査担当：①公益財団法人福島市振興公社 文化財調査室  
②中央大学考古学研究室（小林謙一教授）

\* 調査の目的

住居の使用年代や複式炉の機能・用途等を明らかにすること

\* 調査の手法

史跡指定地内の竪穴住居一軒を発掘し、出土遺物の出土状況等をすべてデータ化し取り上げ、遺跡の本質的価値を明らかにするための情報収集を行うこととしています。

\* 主催：福島市教育委員会

### 和台遺跡の概要

和台遺跡は、約4,000年前の縄文時代中期の遺跡で、福島県内最多となる230軒を越す竪穴住居跡が発見されています。これまでの調査で、広場を中心に掘立柱建物群、竪穴住居群が広がっていることがわかっており、食糧貯蔵用の穴、動物を捕るための落とし穴、土器捨て場なども見つかっています。また、人体文土器や狩猟文土器（県重要文化財）をはじめとする大量の土器や石器、土偶なども発見されています。



人体文土器